



SAGAが終わりました

終わりましたあ！ SAGA17シンポジウム。SAGAが何たるかは、昨年11月のこのコラムにも書きましたのでそちらをご覧ください。

(<http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/blog/encho/blog201311.html>)

SAGAの中身の話は、日本動物園水族館協会の外部ホームページ「どうぶつのに（あつ、かみね動物園だ！ Vol.18）」にも後日アップする予定ですので、後ほどそちらをご覧ください。また、SAGAのホームページにも今回のプログラムや口頭・ポスター発表などの要旨がアップされていますので訪ねてみてください。[SAGAはこちら](#)。（新しいウインドウが開きます）

SAGAは京都大学霊長類研究所をはじめ、動物園や大学、研究機関など霊長類に関する世話人会のメンバーにより運営されていますが、その幹事の方から、個人的にSAGAに参加しているうちの飼育員を通して当園に開催打診があったのが去年の夏前のこと。開催するとなれば結構大変な仕事になるな、と思いながらも全国から関係者が訪れると当園の知名度アップにも一役買うかな、とちょっと厭らしい動機も芽生え、また「園長への手紙」コーナーでも、ゴリラが亡くなり多くの方から再導入を求められている最中でもあったので逆にどうしてゴリラ導入が難しいかを発信できるきっかけになれば、ということでお引き受けした次第。まあ、飼育員の情熱にもほだされたのですが。



《園長への手紙》

そんなこんなでバタバタしながらついに11月。今年のメインテーマは「ゴリラ」ですが特別ゲストを招こうということで、アメリカ・アトランタ動物園から飼育下ゴリラを研究しているタラ・ストインスキ博士を呼ぶことになりました。でタラさんに、事務局を通して成田から日立へ来るには電車で日暮里か上野まで出て、そこから常磐線でウンタラカントラとメールしたら、うーん、外人がわかるかな？自分は前日日立入りできないので誰か迎えに行ってもらえまいか、とのRe.が。来たあ、恐れていたことが……。誰か迎えと言っても、事務のみん中は前日忙しい筈、私が行くしかないのではないかと、しかし、英語の不慣れな私、帰りの車中2時間もどうすればいいの。ってことで、よしタラさんは女性なので、知らない土地で知らないオッサンとひとつ車に乗るのは不安だろうから、女性飼育員を誘っちゃえ！ということで大栗飼育員と行くことに。大栗さん、感謝！



«SAGA17in茨城・日立始まる»

でも空港でタラさんを見つけると、とても気さくに向こうから笑顔で挨拶してくれました。私たちはあまり英語ができないことを話すと、それ以降とてもゆっくりわかりやすく話してくれたので大体の話は通じることができました。当園のお土産のキーホルダーを二つ渡すと、オー、ワタシニハ、フタリノコドモガイマス（もちろん英語）ととても喜んでくれました。夜、ちょっとした歓迎の食事会でも珍しい鍋料理などを写真に撮ったり、生ビールを結構豪快に飲んだりとそんなフランクなタラさんですが（あっ鍋はタラちりです）、ゴリラの話になると、とても真剣な眼差しで語り始めます。

実はタラさん、野生ゴリラの研究では第一人者と言われる故ダイアン・フォッシーさんの遺志を継いだダイアン・フォッシー・ゴリラ財団の最高責任者でもあったのです。アメリカには350頭のゴリラが50の園で飼育されていますが（日本では9園で25頭）、日本のようにいかに繁殖させるかより、いかに350頭を維持するかに力を注いでいます。そのための適正な出産管理計画をスタートさせており、全体としての維持のためには各園の思惑はできるだけ排除され、そのへんがこの国との大きな違いを感じさせられます。



«ゴリラ発表時のタラ・ストインスキ博士»

タラさんのほかには、野生下のゴリラ事情や国内動物園でのゴリラ現状や課題など豊富な話題が提供されました。シンポジウムは立ち見が出るほどの盛況でしたが、今回嬉しかったのは一般参加の方が結構来られ、発表の後は質問も飛び出すなど熱心に議論に参加してくれたことです。



《当園からも》

さらにもう一つサプライズが。今回は、国内ゴリラ研究の第一人者で新たに京都大学総長に就任された山極寿一様や、同じく京都大学霊長類研究所に籍を置きながら国際霊長類学会の会長でもあるチンパンジー研究第一人者の松沢哲郎様という日本の霊長類研究ビッグ2も突然お見えになられ、会場も大いに賑わいました。このほか、当園へ足しげく通われる常連さんや動物園関係者などたくさんの方とも交流できました。拙い運営ではありましたが、最後までお付き合いいただき本当にありがとうございました。ゴリラはいなくなった当園ですが、残されたもう1種類の類人猿チンパンジーとともに、私たち進化の隣人である大型類人猿をこれからも見つめ続けていきたいと思ひます。



《山極先生》



《ポスター発表》

※「どうぶつのかに」連載の「あっ、かみね動物園だ！」Vol.17は[こちら](#)（新しいウィンドウが開きます）

2014年11月24日

過去の一覧

[令和6年](#)